

記録書 No.48

(2016 年 06 月 01 日～2016 年 06 月 28 日)

2016 年 06 月 29 日

乃村研究室 M2

藤田 将輝

0. 前回ミーティングからの指導・指摘事項

(1) 特になし．

1. 実績

1.1 研究関連

(1) 研究テーマに関する項目

(A) 参考文献の読解 (50 % , +0 %)

(B) バグの再現 (0 % , +0 %)

(C) バグの調査 (30 % , +30 %)

(2) 開発に関する項目

(A) 自動ビルドスクリプトの作成 (95 % , +0 %)

(3) 第 303 回 New 打ち合わせ (06/15)

(4) 平成 28 年度第 1 回 New 輪講 (1/4) (06/20)

(5) 平成 28 年度第 1 回 New 輪講 (2/4) (06/23)

1.2 研究室関連

(1) 平成 28 年度部屋別対抗ボウリング大会 (06/07)

(2) 乃村研お楽しみ会 (06/15)

1.3 大学院関連

(1) 特になし．

1.4 就職活動関連

(1) 三菱電機最終面接 (06/01)

2. 詳細および反省・感想

2.1 研究関連

(4) 平成 28 年度第 1 回 New 輪講に参加し，発表した．輪講では，Intel のプロセッサマニュアルを New グループの学生で読解し，各々が担当した章について，スライドを用いて紹介する．私が担当したのは，Intel プロセッサにおけるデバッグ機能の章である．具体的には，チェックポイント機能と最新分岐記録機能について紹介した．チェックポイント機能とは特定の条件を満たすとソフトウェアが動作を止め，その時点でのレジスタやメモリの値を確認できる機能である．最新分岐記録機能とは分岐が発生した際の，分岐元と分岐先を記録しておくことで，分岐から分岐までのシングルステップ実行を可能にし，バグの発生源の特定を補助する機能である．各

機能についてどのようなレジスタを用いるのか，どのフラグがどのような操作を許可するか等を紹介した．紹介したハードウェア機能，OS，およびデバッガの関連を示すと分かりやすいとご指導を頂いた．これについて，デバッガのソースコードを調査し，どのような処理を呼び出しているかを特定しようと考えている．

2.4 就職活動関連

- (1) 三菱電機の最終面接を受けた．結果，内々定を頂き，就職活動を終了した．

3. 今後の予定

3.1 研究関連

- (1) 研究テーマに関する項目

- (A) 参考文献の読解 (7月中旬)
- (B) バグの再現 (7月下旬)
- (C) バグの調査 (7月中旬)

- (2) 開発に関する項目

- (A) 自動ビルドスクリプトの作成 (7月中旬)

- (3) 第 304 回 New 打ち合わせ (06/30)

- (4) 平成 28 年度第 1 回 New 輪講 (3/4) (07/01)

- (5) 平成 28 年度第 1 回 New 輪講 (4/4) (07/11)

3.2 研究室関連

- (1) 乃村研ミーティング (07/04)

- (2) 香川大学訪問 (07/06)

- (3) 暑気払い (07/12)

3.3 大学院関連

- (1) 特になし